

屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所 構 造 設 備 明 細 書

事 業 の 概 要		1							
2 タ 室 ン の ク 構 専 構 用 造	壁	延焼のおそれ のある外壁	(3)			床	(5)		
		その他の壁	(4)			出 入 口	(6) (しきい高さ cm)		
	屋	根	(5)			そ の 他	(7)		
3 建築物の一部に タンク専用室を 設ける場合の建 築 物 の 構 造		階 数	(3)		設 置 階	(4)		建築面積	(5) m ²
		建 築 物 の 構 造 概 要							
4 タ ン ク の 構 造 、 設 備	形 状	(1)				(2) 常 圧 ・ 加 圧 (k P a)			
	寸 法	(3)				容 量	(4)		
	材 質 、 板 厚	(5)							
	(6) 通 気 管	種 別			数		内径又は作動圧		
							mm k P a		
	(7) 安 全 装 置	種 別			数		作 動 圧		
							k P a		
液 量 表 示 装 置		(8)				引火防止装置		(9) 有 ・ 無	
注 入 口 の 位 置		5				注入口付近の 接 地 電 極		6 有 ・ 無	
ポンプ設備の概要		7							
採 光 、 照 明 設 備		8			換気、排出の設備		9		
配 管		10							
消 火 設 備		11			警 報 設 備		12		
工 事 請 負 者 住 所 氏 名		13 電話							

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。

(屋内タンク貯蔵所構造設備明細書)

- 1 「事業の概要」欄は、屋内タンク貯蔵所を設置する事業所等の事業の概要を記入する。
- 2 「タンク専用室の構造」欄は、次により記入する。
 - (1) 建築物全体が屋内タンク貯蔵所の場合は、各項目に建築物構造を記入する。
 - (2) 建築物の一部に設置する場合は、各項目とも屋内タンク貯蔵所の用に供する部分の構造を記入する。
 - (3) 「壁」のうち「延焼のおそれのある外壁」欄は、建築物の外壁のうち、建築基準法第2条第6号の規定に該当する部分がある場合に、外壁の構造を記入する。
 - (4) 「壁」のうち「その他の壁」欄は、建築物のうち、延焼のおそれのある外壁以外の外壁、仕切り壁等の構造を記入する。
 - (5) 「床」、「屋根」の欄は、構造を記入する。なお、建築基準法における構造も併せて記入する。
 - (6) 「出入口」欄は、外壁部分にある出入口の材質（鉄製、アルミニウム製等）及び出入口の枠並びに建築基準法における耐火性能を記入する。なお、しきい高さ欄は、屋内タンク貯蔵所に設置するしきい又は油止めの高さを記入する。
 - (7) 「その他」欄は、屋内タンク貯蔵所の建築面積及びかつこ書きで屋内タンク貯蔵所に設置するしきい又は油止めの構造及び容量を記入する。
- 3 「建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造」欄は、次により記入する。
 - (1) 建築物全体が屋内タンク貯蔵所である場合は、記入しない。
 - (2) 建築物の一部に設置する場合は、各項目とも建築物全体の構造を記入する。
 - (3) 「階数」欄は、建築物の建築基準法施行令第2条第8号で規定する階数を記入する。ただし、地階がある場合は、「地上○階、地下○階」と記入する。
 - (4) 「設置階」欄は、タンクを設置する階を記入する。
 - (5) 「建築面積」欄は、建築物の建築基準法施行令第2条第2号で規定する面積を記入する。
- 4 「タンクの構造、設備」欄は、次により記入する。
 - (1) 「形状」欄は、形状及び屋根形状を、「縦置円筒型（コーンルーフ）」「横置円筒型（中仕切り）」「角型」等と記入する。
 - (2) 「常圧・加圧（kPa）」欄は、タンクの貯蔵方法に該当するものに○を付け加圧の場合はその圧力を記入する。なお、常圧とは、正圧または負圧で5キロパスカルを超えないものをいう。
 - (3) 「寸法」欄は、内径、高さ、側板高さ、胴長（円筒部分の長さ）、鏡出等を記入する。
 - (4) 「容量」欄は、内容積、空間容積、容量を記入する。
 - (5) 「材質、板厚」欄は、底板、胴板、鏡出、屋根板、側板の材質及び板厚を記入する。
 - (6) 「通気管」欄中、「種別」は無弁通気管又は大気弁付通気管の別、「数」は設置数、「内径及び作動圧」、無弁通気管にあっては内径、大気弁付通気管にあっては内径及び作動圧を記入する。
 - (7) 「安全装置」欄は、圧力タンクの場合、その種別、設置数、内径及び作動圧を記入する。
 - (8) 「液量表示装置」欄は、設置する液面計の形式等を記入する。
 - (9) 「引火防止装置」欄は、有無に○を付ける。
- 5 「注入口の位置」欄は、タンクにドラム缶、移動タンク貯蔵所等から受け入れる注入口

の設置場所を記入する。

- 6 「注入口付近の接地電極」欄は、注入口付近のローリーアース等の有無に○を付ける。
- 7 「ポンプ設備の概要」欄は、ポンプの種類及び最大吐出量、ポンプの原動機の種類及び防爆構造等を記入する。なお、ポンプ室の場合は建築物構造等を記入する。
- 8 「採光、照明の設備」欄は、設置する採光及び照明設備の種類等の概要を記入する。
- 9 「換気、排出の設備」欄は、換気又は排出の別（自然換気、一部強制換気、強制換気）、材質、個数、防爆仕様、引火防止網の有無を記入する。
- 10 「配管」欄は、配管又は附属配管の材質、口径、接続方法、防錆・防食方法を記入する。
- 11 「消火設備」欄は、危険物令別表第5の消火設備の区分のうち、設置するものを、例えば「第3種泡消火設備（固定式）」、「第5種（粉末ABC消火器3.5kg）」と記入する。
- 12 「警報設備」欄は、危険物規則第37条第項で規定する区分により、「加入電話」、「自動火災報知設備」等と記入する。
- 13 「工事請負者住所氏名」の欄は、工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入する。

様式第4の二（第4条、第5条関係）

屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要										
タ 室 ン の ク 構 造 専 用 造	壁	延焼のおそれのある外壁				床				
		その他の壁				出入口	(しきい高さ cm)			
	屋	根				その他				
建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造		階数		設置階		建築面積	m ²			
		建築物の構造概要								
タ ン ク の 構 造 、 設 備	形 状					常 圧 ・ 加 圧 (k P a)				
	寸 法					容 量				
	材 質 、 板 厚									
	通 気 管		種 別		数	内径又は作動圧				
						mm k P a				
	安 全 装 置		種 別		数	作 動 圧				
						k P a				
液量表示装置					引火防止装置		有 ・ 無			
注 入 口 の 位 置					注入口付近の接地電極		有 ・ 無			
ポンプ設備の概要										
採 光 、 照 明 設 備					換気、排出の設備					
配 管										
消 火 設 備					警 報 設 備					
工 事 請 負 者 住 所 氏 名		電話								

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。